

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（令和元年度第4回）議事概要

日 時：令和元年7月26日（金）10：00～11：00

場 所：国立がん研究センター 管理棟 第1会議室

出席者：中釜斉理事長、南砂理事、松本洋一郎理事、間野博行理事、北川雄光理事、小野高史監事、増田正志監事

欠席者：児玉安司理事

I. 前々回（令和元年度第2回）及び前回（令和元年度第3回）議事録の確認

- ・前々回及び前回議事録について了承。
- ・前々回議事録署名人を南理事と増田監事に前回議事録署名人を間野理事と小野監事に依頼。

II. 審議事項

1. 医学物理士レジデントコースの設置について

資料に沿って説明され、審議された。

【主な意見等】

- ・放射線治療に関してこのような専門職が必要だということは、以前から聞いている。
- ・専門職を育成する際には、名称の広報も徹底していただきたい。
- ・しっかりした育成体制を構築するためには名称の周知を徹底する必要がある。また、長期的視点に立ってやることも重要であり、がん研究センターのような施設でやる必要があると考えている。
- ・センターとして育成の場を用意する方向で進めさせていただく。

2. レジデント及び研修医の処遇見直しについて

資料に沿って説明され、審議された。

III. 報告事項

1. 倫理指針研究の倫理審査関連業務等について

資料に沿って報告された。

2. 敷地内の連携宿泊施設公募スケジュール案等について

資料に沿って報告された。

3. 障害者雇用率の状況について

資料に沿って報告された。

4. 調達等合理化計画について

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・当センターが研究開発法人であるということ。研究所も病院も非常に特殊なものが多く、当然ながら調達において特殊性が出てくるので、そういう実態を踏まえながら随意契約によらざるを得ない特殊性のある研究や治療機器の調達であるかどうか、契約の妥当性及び競争入札への移行可否を契約監視委員会において審議している。随契の場合、毎回、理由書、証明書を作成しなければならないので、必要な要件をテンプレート化し様式の工夫で作成負担の軽減を図るのはどうか。
- ・定型的にフォーマット化できる部分に関しては、利用者の負担軽減、事務的な面の両方にメリットがあり是非進めていきたい。
- ・迅速性の考慮も必要。
- ・スピード感については調達の合理化、効率化と併せて検討していきたい。

5. 政府の会議の状況

資料に沿って報告された。

6. 広報実績等

資料に沿って報告された。

7. 投資委員会報告

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・非常に多くの職員を増やし増収となっているが、増員計画にかかる増収見込みが実際に達成されているかを検証しているか。
- ・基本的に年2回検証している。更なる検証は必要だが、今年度は概ね見込みどおりになっているという報告をいただいている。
- ・年2回検証をする中で、もう少し詳細な分析も出来るのではないかと思う。

8. 6月分月次決算等

資料に沿って報告された。